

原発性肺癌に対する治療を受けられた患者さんへ

量子科学技術研究開発機構では、原発性肺癌に対して重粒子線治療を受けられた患者さんに関する治療関連データを収集し、重粒子線治療の安全性と有効性を評価する研究を行います。

重粒子線治療は、線量集中性に優れた新しい放射線治療法です。肺障害を比較的低く抑えることができるため、他の治療が困難な患者さんに対しても、安全で有効な治療法となることが期待されています。しかし、最適な治療法を確立するため、治療法や対象について今後も検討を重ねていく必要があります。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをご存知になりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 原発性肺癌に対する重粒子線治療の効果と安全性を確認する後向き研究

[実施期間] 許可日～2030年3月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 QST病院

[研究責任者] 中嶋 美緒

[研究の目的] 原発性肺癌に対する重粒子線治療の成績をまとめ、その効果と有効性を確認し、予後予測因子、呼吸機能温存因子などの解析を行い、治療の最適化に貢献することです。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々

1994年4月以降、2025年3月までに原発性肺癌に対して重粒子線治療を受けた方

●利用する情報及び利用方法

診断名、年齢、性別、生活歴（喫煙、飲酒等）、病歴、疾患情報（病名、組織型、病期、部位等）、治療情報（治療日、線量データ）、検査データ、予後、有害事象

*必要に応じて、実施期間終了時までにご得られたデータを情報取り扱いの安全管理された電子システムにより集計します。新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

本研究で得られた個人情報は、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないよう加工して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名そのほか個人を特定しうる情報は一切公表しないこととします。

（研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（または代理の方）は、2023年3月までに治療を受けた方は2023年9月末までに、2023年4月以降に治療を受けた方は治療後半年以内に、下記窓口までお申し出ください。上記期限を過ぎた後でも、いつでもお申し出いただけますが、解析に使用して個人情報と切り離されてしまった情報は取り除けないことがあります。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

QST病院 中嶋 美緒 電話：043-206-3306（平日 9:00～17:00）